



小さな島からの 大きな一歩

～離島の教育の未来を切り拓く～

中村 真帆

2025/12/25

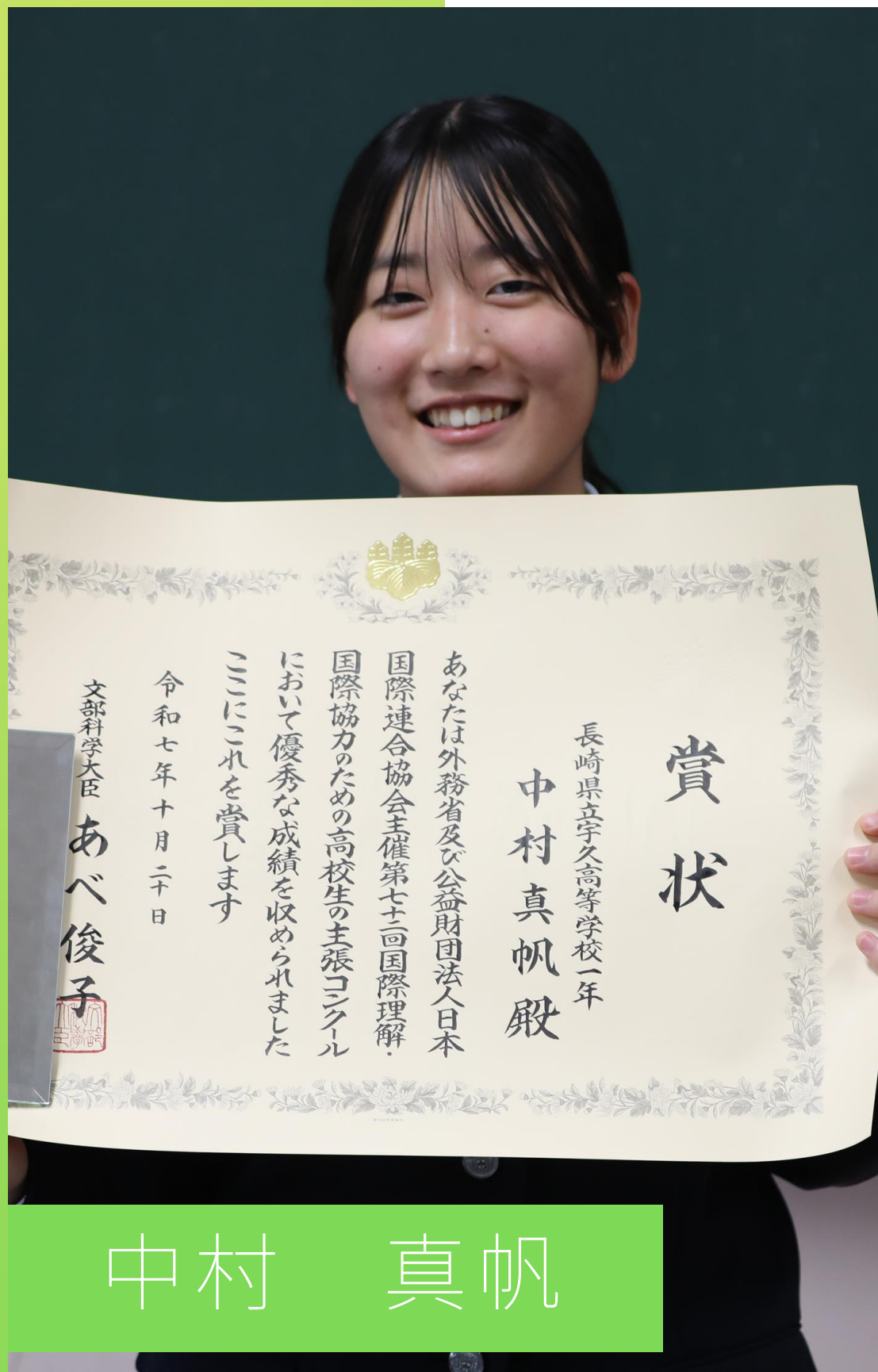
SASEBO若者活躍アワード2025



CONTENTS

01	自己紹介	03	05	主張の核心	11
02	離島の課題	05	06	離島だからこそ	15
03	国連の目標と 私たちの願い	07	07	島から未来へ	17
04	国際的な挑戦	09			

自己紹介



中村 真帆

私の故郷 宇久島

私は、佐世保市にある離島、宇久島に住んでいます。
宇久高校に通う1年生です。
高校では、将来に向けて英語の勉強を頑張っています。

将来の夢

将来、この故郷で高校教師になることが夢です。
私は、この夢と故郷の未来の教育を守るために活動を行っています。

離島の課題

課題

- 人口1,700人
→20年後は1,000人を切る予測
- 宇久高校の全校生徒は、わずか12人
→学校存続基準を大きく下回る



狭い世界で生きることが、変化する社会から取り残されるリスク

国連の目標と 私たちの願い

国連の目標

質の高い教育をみんなに



「みんな」の中に10年後、20年後の宇久島の子どもたちは？

離島だからといって教育の質が劣ってはいけない
島に住む子どもたちも、世界を良くしたい想いはある

国際的な挑戦

海を越えて心を繋ぐ実践

01

韓国やアメリカの人たちと
オンラインで交流しました。

- ・ 学校生活
- ・ 流行っていること
- ・ 文化の違い

02

バングラデシュの大学生と、
長崎・宇久島の文化や特色について
、オンラインで語りました。



緊張しましたが、勇気を出して自分の考えを発信
言葉の壁や距離はあっても、心は繋がると実感

主張の核心

第72回 国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール

- 主催：外務省、（公財）日本国際連合協会
- 趣旨：高校生に対し、国際連合についての主張を通して、国際理解・国際協力について考える機会を提供すること
- 3つのテーマ
 - ①今年には国連創設80周年 国連が国際社会の利益に応えるために必要なことは？
 - ②あなたが、国連の総会議場でスピーチするなら、何を訴える？
 - ③多国間主義はどのような課題に直面している？多国間主義は今後も必要？

文部科学大臣賞を受賞



佐世保市副市長（左）を表敬訪問

宇久島の子どもたちに必要なのは

他地域や海外との交流の機会

これを実現する環境

離島だからこそ

「離島だからこそ」生まれる学びへ

- 離島だからこそ、生徒全員が、表舞台に立つ機会に恵まれ、力をつけることができる。少ない人数を逆手に！
 - ※JICA派遣員や地域コーディネーターの方々を通じて、世界の学生との交流授業を計画中です！
- 将来の夢、教師を目標に、国連と協力して離島教育に新しい価値を生み出す
オンライン交流の機会を、国連と共に創出！
 - ※2026年3月に「奥・井ノ上記念日本青少年国連訪問団」として米NY国連本部を訪問し、国連の皆様と教育課題について協議してきます！



小さな島から未来へ

生まれた場所が「できない理由」にならない世界を、
皆さんと共に作りたい

ご清聴ありがとうございました